

平成24年行政事業レビューシート（環境省）

事業名	核燃料サイクル分野の規制高度化研究事業 (交付金)	担当部局庁	原子力規制委員会発足まで：経済産業省 原子力安全・保安院核燃料サイクル規制課 原子力規制委員会発足以降：原子力規制委員会	作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・平成28年度(予定)	担当課室		課長 信濃 正範	
会計区分	エネルギー対策特別会計 電源開発促進勘定	施策名	5 生命・身体の安全 (ただし、原子力規制委員会設置前の施策名)		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	法律：特別会計に関する法律 第85条第4項 政令：特別会計に関する法律施行令第51条第1項第31号	関係する計画、通知等	総合科学技術会議の分野別推進戦略のVエネルギー分野の中の10③-5 原子力安全研究 ○エネルギー基本計画(平成19年3月閣議決定)第2章第3節2. 原子力の安全の確保と安心の醸成		
事業の目的	事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)				
事業の概要	事業概要 (5行程度以内。別添可)				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他				

予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		当初予算	-	-	153	143
	補正予算	-	-	-	-	-
	繰越し等	-	-	-12	-	-
	計	-	-	141	143	151
	執行額	-	-	141	-	-
	執行率(%)			100.0%		

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
			成果実績	-	-	1
	達成度	%	-	-	100	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
			活動実績 (当初見込み)	-	-	腐食データ及び電気化学データ取得、環境割れ・熱サイクル疲労データ取得、成果とりまとめ

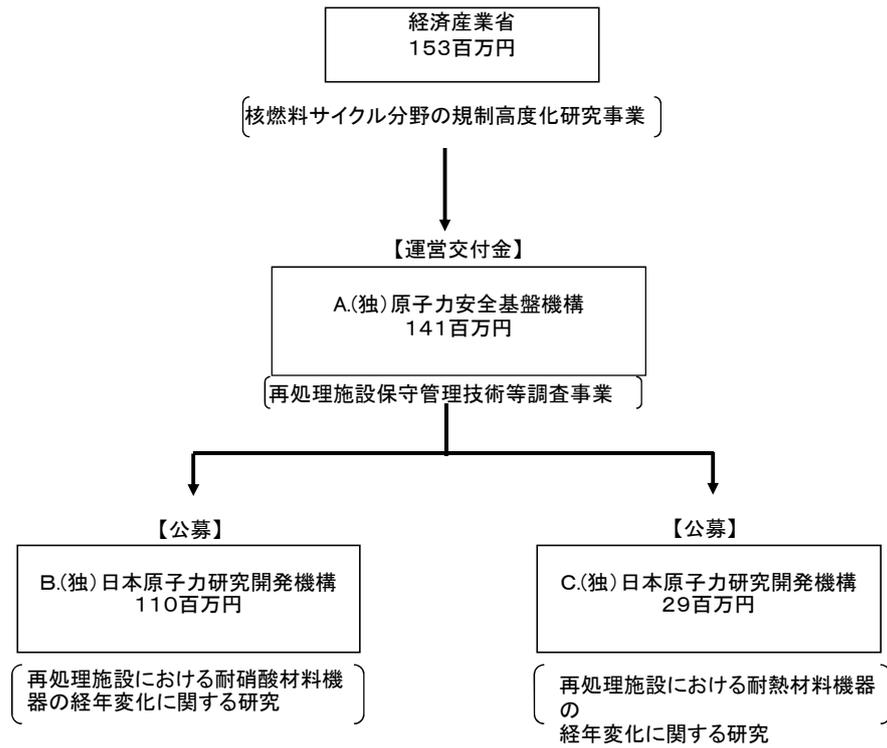
単位当たりコスト	38,192 (千円/件)	算出根拠	「単位当たりコスト=X/Y」 X: 23年度予算額 (152,767千円) Y: 23年度試験のテーマ件数 (4件)
-----------------	---------------	-------------	--

平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	1. 主要経費	3	2	試験の本格化による増
	2. 外注費	140	149	
	1) 調査研究費	8	0	
	2) 試験費	132	149	
	①試験計画費	1	1	
	②設計費	1	3	
	③製作費	130	68	
	④試験／解析費	0	76	
計	143百万円	151百万円		

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・経年変化が再処理施設の安全性に及ぼす影響について技術的知見を整備し、経年変化対策の技術と、長期保全計画の妥当性を適正に評価することにより、原子力施設の安全・安心の確保を図るものであるため。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・放射性廃棄物の処理施設、放射線防護機能を予め備えた施設を有する支出先を選定することにより、コストの低減及び予算の重点化を図っている。 ・中間段階での支出は委員会経費等、事務的な経費に限られている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・研究用再処理施設に対する高経年化対策に係る検討で培った知見を活用することにより、商業用再処理施設に対する検討を深める上で最小限の研究対象に絞り、計画されている。 ・本事業で技術評価マニュアルの整備を成果目標としており、平成24年度は各種試験のうち一部の試験設備について整備が完了する見込み。 ・計画に沿った進捗を確認している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<p>・再処理事業者は、再処理規則に基づき、事業を開始した日以降20年を経過するまでに再処理施設に関する経年変化の技術的な評価を行い、その結果に基づいて長期保全計画を策定することが求められている。本事業は、この報告書の妥当性について国が技術的知見に基づき、適切に評価を行うことにより、安全規制の充実と再処理施設に対する国民の不安に応えるものである。</p> <p>・放射性廃棄物の処理施設、放射線防護機能を予め備えた施設を有する支出先を選定することや、研究用再処理施設に対する高経年化対策に係る検討で培った知見を活用することにより、コストの低減及び予算の重点化を図る等、本事業における支出は合理的な内容となっている。</p> <p>・商用再処理施設の技術評価マニュアルについてはこれまでに整備された知見と本事業による試験等から得られるデータに基づく技術評価マニュアル（改訂版）を整備し平成29年度末までに公開する予定。当該技術評価マニュアルは、平成31年頃に予定される商用再処理施設の高経年化評価に活用される予定であり、成果物の活用イメージが明確となっている。</p>
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		引き続き効率的な事業実施に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
—		引き続き効率的な事業実施に努める。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	105

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金額
 が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の
 双方で実情が分かるよう
 に記載)

A. (独) 原子力安全基盤機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	再処理施設における耐硝酸材料機器の経年変化に関する研究	110			
外部委託	再処理施設における耐熱材料機器の経年変化に関する研究	29			
その他	委員会経費、資料費、旅費	2			
計		141	計		0
B. (独) 日本原子力研究開発機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員人件費	55			
事業費	物品購入費、設備費	29			
再委託費	試験費、設備保守費	20			
一般管理費		6			
計		110	計		0
C. (独) 日本原子力研究開発機構			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員人件費	13			
事業費	物品購入費、設備費	8			
再委託費	試験費、設備保守費	7			
一般管理費		1			
計		29	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. (独) 原子力安全基盤機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独) 日本原子力研究開発機構	再処理施設における耐硝酸材料機器の経年変化に関する研究	110		(委託)
2	(独) 日本原子力研究開発機構	再処理施設における耐熱材料機器の経年変化に関する研究	29		(委託)
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. (独) 日本原子力研究開発機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	早稲田大学	チタン合金の侵入水素定量測定法と環境割れ特性評価	7		(委託)
2	東京工業大学	チタン合金製蒸発缶の環境割れ抵抗性の調査研究	7		(委託)
3	九州工業大学	チタン合金の侵入水素定量測定法と環境割れ特性評価	2		(委託)
4	日本電子(株)	電界放射型電子顕微鏡の保守作業	2		(委託)
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. (独) 日本原子力研究開発機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	物質・材料研究機構	ニッケル基合金の長時間クリープ特性に関する研究	2		(委託)
2	株コベルコ化研	雰囲気影響評価疲労試験	1		(委託)
3	株日鐵テクノリサーチ	経年変化評価高温疲労試験	1		(委託)
4	株神戸工業試験場	経年変化評価室温疲労試験	1		(委託)
5	株神戸工業試験場	高温疲労への酸化皮膜影響評価試験	1		(委託)
6					
7					
8					
9					
10					